

審査結果
発表!

第5回 人権問題に関するエッセイコンテスト

総評

6名の方が受賞されました。

おめでとうございます!

最優秀賞・・・賞状と副賞（五万円）

みかた

ジュゴン（ニックネーム）様 十九歳 山口県山陽小野田市

優秀賞・・・賞状と副賞（三万円）

発達障害児への差別と偏見に対する親の苦しみ

affetto（ニックネーム）様 四十六歳 茨城県水戸市

佳作・・・賞状と副賞（二万円）

弟という人

内田妃音様 十七歳 高校二年 愛知県みよし市

止まらぬ咳とOさんの思い出

小倉一修様 五十九歳 愛知県名古屋市長

一人で生きる権利

雪だるま（ニックネーム）様 二十八歳 岩手県和賀郡

NO Japan運動（日本製品不買運動）

山崎樹歩様 十二歳 京都市伏見区 京都教育大学附属桃山中学校

今回も短い募集期間にもかかわらず国内及び海外から173名、12歳から83歳の方々からご応募をいただきました。

ありがとうございます。審査している中で気になったのは、ご自身の言葉で気持ちを表現していない人が少なくなかったことです。

大切なのは学術論文のようなかまごまった言葉ではなく、あなたの素の言葉で、あなただけの言葉で、自分の考えを表現することです。

自分の言葉で書かないと読み手の心に響かず説得力もありません。

まずは身近な経験を通して大きな問題へと視点を変え、

自分がどう変わったのかを書くことより説得力も増します。

今回の受賞作品は次回出版される

「心をつなぐエッセイ集Part II」に掲載させていただく予定です。次回も多くの皆様のご応募をお待ちしております。